## 特許協力条約

PCT

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]



出願人又は代理人	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220		
の書類記号 PC-9423	及び下記5を参照すること。		
国際出願番号	国際出願日	優先日	
PCT/JP2005/001226	(日.月.年) 28.01.2005	(日.月.年) 30.01.2004	
出願人 (氏名又は名称) 三菱住友シリコン株式会社			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で \_\_\_3\_ ページである。

□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

- 1. 国際調査報告の基礎
  - a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 「この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った(PCT規則23.1(b))。
  - b. 「 この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第 I 欄参照)。
- 2. 「 請求の範囲の一部の調査ができない (第Ⅱ欄参照)。
- 3. 「 発明の単一性が欠如している (第四欄参照)。
- 4. 発明の名称は
- ▽ 出願人が提出したものを承認する。
  - 厂 次に示すように国際調査機関が作成した。

- 5. 要約は
- ▽ 出願人が提出したものを承認する。
- 「 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により 国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ の国際調査機関に意見を提出することができる。
- 6. 図面に関して
  - a. 要約書とともに公表される図は、

第 <u>1(A)-(1)</u> 図とする。 **▽** 出願人が示したとおりである。

- 出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。
- 「 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。
- b. 「 要約とともに公表される図はない。

発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int.Cl.7 H01L27/12, 21/265

## 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.<sup>7</sup> H01L27/12, 21/265, 21/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2005年

日本国実用新案登録公報

1996-2005年

日本国登録実用新案公報

1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献				
引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号			
JP 2-228061 A (日本電信電話株式会社) 1990.09.11,				
全文、全図	1, 3, 6			
全文、全図	5			
全文、全図 (ファミリーなし)	2, 4, 7, 8			
JP 5-129258 A (株式会社日立製作所) 1993.05.25, 全文、全図 (ファミリーなし)	1, 3, 5			
	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示  JP 2-228061 A (日本電信電話株式会社) 1990.09.11, 全文、全図 全文、全図 全文、全図 (ファミリーなし)  JP 5-129258 A (株式会社日立製作所) 1993.05.25,			

## V C欄の続きにも文献が列挙されている。

「パテントファミリーに関する別紙を参照。

- \* 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献 (理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの

3460

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 国際調査報告の発送日 14.04.2005 10.05.2005 国際調査機関の名称及びあて先 4 M 2934 特許庁審査官(権限のある職員) 日本国特許庁(ISA/JP) 綿引 隆 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線

		国际山殿留写 「「」」「「」」	003/001226			
C(続き).	. C (続き). 関連すると認められる文献					
引用文献の	抑油ナス					
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するとき	は、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号			
	JP 11-145074 A(株式会社デンソー)199					
Α	全文、全図 (ファミリーなし)	1,0				
			1-8			
	WO 2004/010E0E					
	WO 2004/010505 A (信越半導体株式会社)	2004. 01. 29,				
Α	全文、全図 & JP 2004-55752 A		1-8			
1	•					
1						
			1			
!						
i l						
1						
]						
1						
1						
1						
į						
İ		j				
1						
<b>j</b>						
1		į				
ĺ		ł				
ĺ		j	1			
İ	·		1			
1						
			ļ			
j		[				
}		l				
1		1				

THIS PAGE BLANK (USPTO)

BEST AVAILABLE COPY